

大分港で合同沿岸海難救助訓練が実施されました

7月20日(祝日「海の日」)大分海上保安部主催で合同沿岸海難救助訓練が実施され、大分県水難救済会の救難所員が参加しました。

■1 訓練海域:

大分港西大分泊地 生石ふ頭前面海域

■2 参加機関(5機関、115名)

- (1) 大分海上保安部 巡視船艇3隻
- (2) 大分県水難救済会 2隻(訓練用船:けんびし丸、昭栄丸)
- (3) 大分県スキューバダイビング安全対策協議会
- (4) 九州磯釣連盟大分県支部
- (5) 水上オートバイ(エフカンパニー)

■3 訓練内容

- (1) 海中転落者救助訓練(大分県水難救済会実施)
- (2) 機関故障船曳航訓練(大分県水難救済会実施)
- (3) 火災船消火訓練(大分県水難救済会用船が火災想定船)
- (4) 海中転落者搜索訓練

■4 その他

本訓練は、海の日に開催された大分市生石地区の「かんたん海の大サーカス」のイベント(巡視船やまくに一般公開含む)に併せて実施され、多数の市民に対して、大分県水難救済会の活動についても場内放送で紹介され、水難救済ボランティアについてアピールすることができました。また、大分海上保安部の絶大な協力を得て、青い羽根募金への協力を呼びかけたところ、多数の方々から募金をいただきました



曳航救助訓練



火災消火訓練(展示)



沿岸救助訓練



海中転落者救助訓練